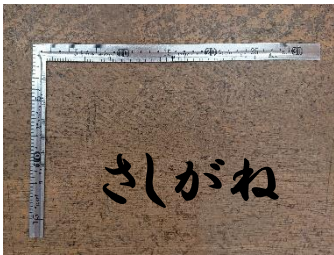


～すばらしい製品は、すぐれた手道具から生まれる～

今回はウッドで活用している木工手道具を紹介します！

めいしょう 名称	しょうかいぶん かんれんちしき 紹介文・使い道・関連知識など
 さしがね	どくじ - 日本独自の手道具。 はか 長さを測る。直角に線を引く。直角を確認する。曲線も引けます！ 30 cm, 60 cm, 1 mのものがある。 - 銅製・ステンレス製・アルミ製のものがある。
 げんのう 玄能	くぎ - おもにノミや釘をたたく時、製品の組立などに使う。 げんのう りょうぐちげんのう かためん ウッドにある玄能は両口玄能といって、片面は平ら、もう一方はややふくらみがあります。
 け引き	- 平らな木材の表面に線を引く道具。 そくめん 板の側面に沿ってすべらすことで、さおの先の刃が木材に線をしるします。 2枚の刃を使って、木材へ2本線を引くことも可能。かのう
 のこぎり 鋸	- 木を切断する時に使う道具。 - ほとんどの国では押して切りますが、日本では引いて切るという、とてもめずらしい使い方をしています。
 かんな 鉋	- 木材の表面をけずり取る道具。仕上げの工程で使うことが多い。 やりじょう 昔は槍状の道具でけずっており、今の形は室町時代になってから。種類がとても多い。 - けずる目的によって、荒かんな、中仕上げかんななど、呼び名が変わる。あらかしあ

他にも、教科書（P 7～）にはたくさんの木工手道具がのっています！
 この機会に確認してみましょう(^_^)